

本格的な

アカデミック・ライティング
に至るための

Write-So-Well

動画講義付き

田中茂範（著）

アウトラインとは？

アウトラインの関連動画

SCAN HERE



アウトラインは論文などの見取り図を提供してくれます。いきなり、英文を書き始めるというより、アウトラインを作成し、それに肉付けするという形で英文を書けば、論理的に整合がとれた英文を書くことができるはずです。

ライティングの黄金律は、**筋が通った文章の組み立てを行う**ということです。英語でいえば coherence（一貫性）が最重要であるということです。言い換えれば、文章にしっかりとした構造があり、組み立て方があるということです。

For good writing

Have a good organization.

Have a structure for writing.

文章の構造は、作りながらではなく、あらかじめアウトラインとして示しておく必要があります。アウトラインを作成するということは、文章作成の際のロジックを鍛えることになります。

TASK : 次の文章をアウトラインの形式に書き換えてみましょう。どんな短い英文でも文章で書かれるものは、ロジックがはたらいっていることがわかるでしょう。

書かれた英文

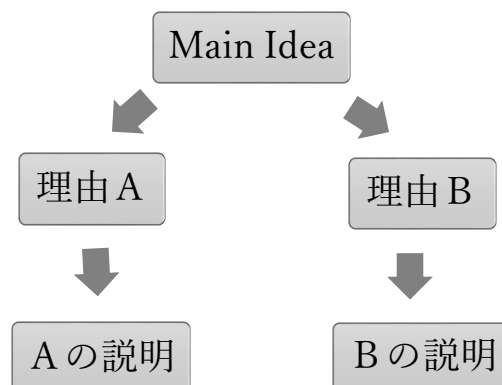
You should ride a bicycle because bicycling is an ideal form of convenient and inexpensive transportation and because it is also an excellent form of healthful recreation and is fun.

アウトラインの形式に変換

You should ride a bicycle.

- A. Bicycling is an ideal form of transportation.
 - 1. It is convenient.
 - 2. It is inexpensive.
- B. Bicycling is an excellent form of recreation.
 - 1. It is healthful.
 - 2. It is fun.

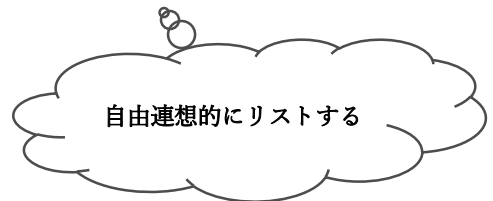
すなわち、ここでの主要な論点（main idea）は「自転車に乗ることを推奨する」というものです。そして、その論点を補強する理由をAとBの形で述べ、さらにそれぞれの理由を支えるアイデアが示されています。主要な論点を1つ示し、それについて展開するというやり方です。



2. 絞り込まれた主題 (specific topic) についてのアウトラインのラフドラフトを作る。

ここからアウトラインの作成に入ります。まずは、主題について述べたい主要なアイデアを書きだします。この段階では、単語、フレーズでも大丈夫です。

- A. _____
- B. _____
- C. _____
- D. _____
- E. _____
- F. _____
- G. _____



3. 主要な論点を関連づけ、いくつかの論点グループを作る。

グルーピングとその配列については、ストーリーの流れに沿って整合していることが大事です。上で挙げた主要な論点が副次的である場合は、サポートする論に回してください。必要に応じて、論点（主要点）を足したり、引いたりして、バランスを整えてください。

Group 1

- 1.1. (B) _____
- 1.2. (E) _____
- 1.3. (G) _____

Gは主要な論点より
補足的な役割だ

テクニック 5：視覚情報を提示する

問題を詳述するには、表、図、グラフなどの視覚情報を使うと効果的。この場合、以下に注意すること。

1. 論点をバックアップするために視覚情報を用いる。
2. 視覚情報は文章の説明と連動するように位置を考えて載せる。
3. 表や図の場合、そのタイトル、及び、縦軸、横軸などの名前を付ける。
4. 引用の場合は、どこからの引用かを明記する。

TASK-13: 以下は、収入の不平等者を測定するために用いられるローレンツ・カーブです。図を分析し、大切な点を英語で説明してください。

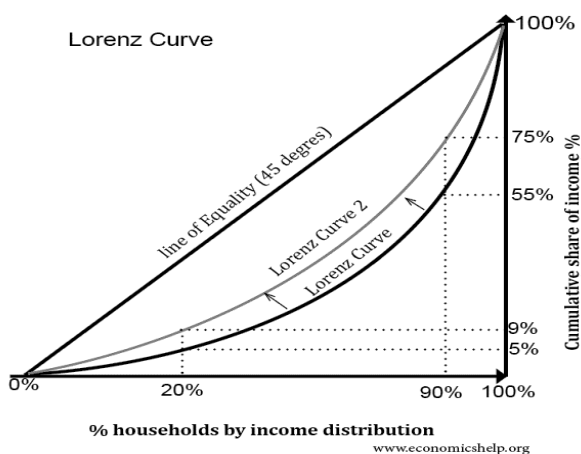


Figure 1: Measuring income inequality—the Lorenz curve

有用な表現

Figure 1 indicates that...

As illustrated/ shown in Figure 1...

The horizontal line represents...

The vertical line shows...

A glance at the table above shows that...

The diagonal line represents...

The space between the line and the curve shows that...

こで、学習者は誤りを犯すことに過敏になってしまう。誤りに対して寛大であるということは、学習者にとって精神的な救いになる。これが、学習者が「誤りに対する寛大さ」を *speaking* の選好理由として挙げた説明になるだろう。

As Table 1 shows, there were some participants in both groups who preferred *writing* to *speaking*. Let us look at the reasons for their preference. Table 3 indicates that the writing-oriented participants in both groups generally agreed that *writing* is useful when one expresses one's ideas in an accurate and coherent manner, since there is time to monitor and refine one's writing.

Table 3 Reasons for Preference of Writing over Speaking

<u>Category</u>	<u>Descriptions</u>	
	% for 8 NSE (Total N = 24)	% for 11 NNSE (Total N = 33)
Accuracy	43	22
Time	27	19
Monitor Use	13	37
<u>Security</u>	17	22

The category *security* also seems to be important for some writing-oriented participants in the two groups. One NNSE explained: "I prefer writing because I do not have to worry about the partner's feelings when I write." Likewise, one NSE said straightforwardly: "I feel insecure talking in front of people. For this reason, I love writing."

解説：参加者の中には、母語話者か学習者かにかかわらず、*writing* を好む人もいた。その選好理由は表 3 に示す通りである。母語話者は、時間があるため、正確な英文で表現することができることを挙げている。

By and large, the two groups responded similarly as for writing. Table 3, however, shows that the top reasons for the two groups are different. The top reason for choosing writing among advanced language learners is *monitor use*, while the top reason among writing-oriented native speakers is *accuracy*. On the surface, *monitor use* and *accuracy* are interrelated; in writing, one can monitor and edit one's English to enhance its 'semantic' accuracy, or accuracy in terms of conveying one's intended meaning. This is probably the

Role-playing (ロールプレイ)

Observations (観察)

例. 英語力自己診断

設問：以下の問いは、英語力について自己診断を行うためのものです。7段階評価で最もふさわしいと思われる数値を選択してください。Unlikely は「そんなことはない」、Likely は「そうだ」に相当し、1と7が両極端な状況を表します。

【心理的な要因】

1. ネイティブと話そうとすると、気持ちの上であがって、口籠（くちごも）ってしまう。

Unlikely 1 2 3 4 5 6 7 Likely

2. 積極的に英語を学びたいわけではないが、英語は学ばなければならないと感じている。

Unlikely 1 2 3 4 5 6 7 Likely

3. 英語については、自ら進んで学びたいという強い思いを持っている。

Unlikely 1 2 3 4 5 6 7 Likely

4. 英語については、これまでずっと苦手意識を持ってきた。

Unlikely 1 2 3 4 5 6 7 Likely

5. 英語を話す機会があれば、進んで話してみたいと思う。

Unlikely 1 2 3 4 5 6 7 Likely

6. 英語を話そうとするとすぐ間違っしまい、恥ずかしい思いをする。

Unlikely 1 2 3 4 5 6 7 Likely